

令和6(2024)年度

事業計画書並びに
収支予算書

公益目的事業1

駿府博物館の展覧会事業及び芸術文化の普及事業

A. 展覧会事業

	区分	展覧会名	会期・休館日	入館料	名義(予定)
1	特別展	素材にいのちを吹き込む～ 針金とフェルトの世界(仮)	4月27日(土)～ 6月16日(日) [44日間] (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上 800円 (中学生以下、障害者 手帳提示の方は無料)	[共催] 静岡新聞社・静岡放送 [後援] 静岡県教育委員会、 静岡市教育委員会、 焼津市教育委員会、 藤枝市教育委員会
2	特別展	プラモデルの街 しずおかの 今昔100年(仮)	7月20日(土)～ 9月8日(日) [44日間] (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上 800円 (中学生以下、障害者 手帳提示の方は無料)	[共催] 静岡新聞社・静岡放送 [後援] 静岡県教育委員会、 静岡市教育委員会、 焼津市教育委員会、 藤枝市教育委員会
3	企画展	和歌・短歌 ころの休日～ 花鳥風月 散歩(仮)	10月26日(土)～ 12月22日(日)、 令和7年 1月4日(土)～ 13日(月) [59日間] (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館) ※12月23日～1月3日 は休館	高校生以上 500円 (中学生以下、障害者 手帳提示の方は無料)	[後援] 静岡新聞社・静岡放送 静岡市
4	その他	第48回 蘇峰会静岡県書道展	3月11日(火)～ 3月23日(日) [12日間] 前期:3/11～3/16 後期:3/18～3/23 (休館:3/17期展示替)	無料	[共催] 蘇峰会、 静岡新聞社・静岡放送 [後援] 静岡県、 静岡県教育委員会、 静岡市、 静岡市教育委員会、 静岡県書道連盟

B. 芸術文化の普及事業

①講演会、ワークショップ、デモンストレーション、ギャラリートーク

1. フェルト作家によるワークショップ … 1 回開催予定
 2. 青島文化教材社による夏休み「プラモデル教室」 … 2 回開催予定
 3. 当館学芸員によるギャラリートーク、対話型鑑賞法の解説 … 各 1 回開催予定
- ※上記数字は「A. 展覧会事業」に対応。

②広報その他(展覧会事業及び芸術文化の普及事業に関連した印刷物作成とネットでの発信)

展覧会目録等の発行

- (1) 15,000 部予定 (無料配布)
 - (2) 20,000 部予定 (無料配布)
 - (3) 10,000 部予定 (無料配布)
 - (4) 500 部予定 (無料配布) ※蘇峰会作成
- ※上記 1～3 は「A. 展覧会事業」に対応。

S N S 等にて展示情報の発信を行います。

③短期歴史講座

第 21 回駿府博物館短期歴史講座

激動の幕末から明治へ、その時「静岡」は (仮) (全 4 回予定)

■主 催 駿府博物館 (公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)

■会 場 静岡 新聞放送会館 4 階会議室 (静岡市駿河区登呂 3-1-1) 予定

■受 講 料 一般 5,000 円、大学生・大学院生 3,000 円、高校生 2,000 円
オンライン受講 3,000 円 (録画で聴講予定)
(全 4 回分、資料代含む)

■募集人数 50 名程度

■企画内容 国家の体制、産業、教育、日本が急速に変化した幕末から明治初期にかけて、静岡県内はどんな状況だったのか。知られざる活動家、或いは大きなうねりの中で活躍した人物に注目し、静岡県の近代化の黎明期を検証します。
前回に続きオンライン配信も加えて受講生の幅を広げます。

■開催予定 令和 6 年 9 月～12 月

公益目的事業2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への支援

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施。県民の皆さまから寄せられた寄付金で物品等を購入し寄贈する。寄贈先は県内団体を対象に公募し、有識者による選考委員会で審査の上決定する。

1. 募 金 告 知 年間を通して事業団 Web サイト、SNS と、静岡新聞及び静岡放送等で広く呼びかける。
2. 募 金 受 付 年間を通して事業団、静岡新聞社・静岡放送東部総局、浜松総局、県内各支局で受け付ける。
3. 支 援 対 象 県内で活動している社会福祉団体・施設や NPO 法人、ボランティア団体等で以下の条件を満たすものとする。
【条件】
 - a. 活動や事業内容が福祉に関するものである事
 - b. 活動期間が1年以上継続されている事
 - c. 過去に「愛の都市訪問」で、寄贈を受けていない、または受けてから5年以上経過している事※個人、反社会的組織や営利団体が母体の団体は対象外とする。
4. 支 援 内 容 支援対象団体が希望する物品(車両・資機材等)を寄贈する。
購入金の補助はしない。
【車両】
 - a. 高齢者や障がい者等、支援が必要な方の社会参加を促進する上で必要な車両
※車両取得にかかる税金、諸費用、オプション装備は、申請施設・団体が負担
※バスや中古車は除く【資機材】
 - a. 高齢者や障がい者の就労・賃金アップにつながる支援など社会参加を促進するための資機材
 - b. ボランティア活動や福祉活動を推進していく上で必要とする資機材
5. 支 援 先 募 集 事業団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送、SNS を通じ県内から広く公募する。
6. 応 募 方 法 規定の応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添えて事業団事務局へ郵送する。
7. 応 募 締 切 8 月末 (予定)
8. 選 考 11 月 (予定) に学識経験者等で構成する選考委員会で決定する。
9. 通 知 応募者すべてに内定・落選の通知を送付する。
10. 発 表 令和6年12月(予定)に事業団webサイトと静岡新聞紙上で発表する。
11. 寄 贈 令和7年3月(予定)

B. 災害救援活動への助成支援

国内外の大規模災害に対して県内から募金を受け付け、日本赤十字社や被災地自治体を通じて、被災者へ募金を送る。

1. 実施の判断
 - a. 日本赤十字社静岡支部や被災地の自治体に義援金受付窓口が開設される事が確実なこと
 - b. 被害が広域に及んでいるか、激甚災害指定等により、災害規模を勘案する
 - c. 静岡新聞社・静岡放送との共催が決定した時
2. 実施の決定 事業団代表理事と相談の上、実施の可否を決定する。
3. 告知 事業団webサイト、静岡新聞紙上、静岡放送を通じて募金を呼びかける。
4. 支援方法 募金をまとめ、日本赤十字社静岡県支部や被災地自治体に全額寄付する。
※物資の取り扱いは行わない。

公益目的事業3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

表彰制度「第14回 ふるさと貢献賞」を実施する。
地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を顕彰する。

1. 目的 地域生活の模範となる活動を続ける人々を称える事により、明るく住みよい社会作りに資することを目的とする。
2. 表彰対象 長年にわたり他の模範として推奨に値する献身的な活動を続け、将来につながる取り組みをする学校・自治会・個人・団体・企業

【活動例】

- 施設慰問、介護支援などの福祉活動
- 公共施設・道路などの美化、清掃、自然保護などの環境保全活動
- 交通安全、犯罪防止、児童生徒への校外教育・指導などの地域貢献活動
- 地域社会や公共施設に著しく功績があると認められる活動
- 国際的な交流による地域活性活動
- 障がい者の自立支援や自己実現、文化芸術活動などを支える活動
- 障がい者と健常者が特別な区別なく社会生活や企業活動を共にする活動

3. 募集対象 活動地域が県内であること。居住地、職業、性別は問わない。
※以下に該当する場合は応募できない。
 - a. 当該行為が名誉・金銭・経済的利益を優先するものである場合
 - b. 当該行為が個人または団体の売名・宣伝等を目的とするものである場合
 - c. 過去に本賞を受けている場合
4. 募集告知 4月から事業団webサイトや静岡新聞紙上等を通じて県民に呼び掛ける。また関係機関へ通達する。

5. 応募方法 推薦方式とする。
6. 応募締切 9月下旬(予定)
7. 選考 11月(予定)に学識経験者で構成する選考委員会で審査の上決定する。
8. 通知 推薦者および推薦を受けた団体・個人すべてに選考結果の通知を送付する。
9. 発表 令和7年2月(予定)に事業団webサイトと静岡新聞および静岡放送等で発表する。
10. 表彰 令和7年2月(予定)に表彰式を行う。
賞状、副賞を授与する。

収益事業

A. 図録などの販売

展覧会事業において、展覧会図録、はがき、書籍等の関連商品の販売を行う。

B. その他

希望に応じて所蔵品の貸与、図版の印刷物への提供等を行う。